

コンテンツ不正流通の現状と対策

平成 23 年 4 月 14 日

コンテンツ不正流通対策連絡会座長

上智大学 文学部 新聞学科 教授

音好宏

コンテンツ流通の現状と実験検討事項

目的

ネット上のコンテンツの正規流通ビジネスを阻害する、権利者の許諾を得ないコンテンツの流通（不正流通）への対策を図ることにより、権利者が適正な対価を得られる環境の整備を通じて、インターネット上でのコンテンツの2次利用の促進を図る

現状と課題

インターネット上で地上波テレビ番組の不正な流通が横行。

【インターネットのブロードバンド利用者数 7,673万人のうち、動画投稿サイトにて無許諾に投稿された日本のテレビ番組を視たことがある利用者は 1,642万人(21.4%)、ファイル共有ソフト利用者では 130万人(1.7%)である。（総務省調査研究により、三菱総合研究所試算）】

不正流通が社会問題化

動画投稿サイトやP2Pファイル共有ソフトを悪用した著作権侵害が社会問題化しているにもかかわらず、関係者が協力した不正流通対策が行われていない。

権利者団体、通信事業者、動画投稿サイト運営事業者、放送事業者等の関係者が協力したコンテンツの不正流通監視の取組が必要

利用者の著作権及び権利保護に対する意識の希薄化

多くの利用者が著作権及び権利保護に対する意識が希薄であることから、無意識のうちに権利侵害に荷担しているおそれがある。

コンテンツ製作者は、適正な対価を得つつ、利用者は、安心してコンテンツを利用できる環境の醸成が必要

コンテンツ不正流通対策連絡会と実証実験の概要

◆ コンテンツ不正流通対策連絡会

権利者団体、通信事業者、動画投稿サイト運営事業者、放送事業者の関係者により、平成22年3月「コンテンツ不正流通対策連絡会」を設置し、これまで6回の会合を実施

・ 検討内容

実証実験の進め方、不正流通対策の複数のモデル/技術の比較及び検証
 モデルシステムの構築及び評価、共同検知体制の在り方、運用ガイドラインの策定
 その他、コンテンツの不正流通対策に関する事項（不正流通の実態調査）

・ 連絡会の構成

有識者	音 好宏 (座長)	上智大学 文学部新聞学科 教授	動画投稿サイト運営事業者	杉本 誠司	(株)ニワンゴ 代表取締役社長
	北川 高嗣 (座長代理)	筑波大学大学院 システム情報工学研究科 教授	放送事業者	大路 幹生	日本放送協会ライツ・アーカイブスセンター長
権利者団体	堀 義貴	(社)日本音楽事業者協会常任理事		オブザーバー	石井 亮平
	椎名 和夫	実演家著作隣接権センター運営委員会運営委員	千葉 晋也		(社)日本民間放送連盟コンテンツ問題特別部会コンテンツ流通WT 主査
	小島 芳夫	一般社団法人日本音楽著作権協会 送信部 部長	入江 武彦		(社)日本民間放送連盟コンテンツ問題特別部会コンテンツ流通WT 副主査
	畑 陽一郎	一般社団法人日本レコード協会 事務局次長	総務省総合通信基盤局消費者行政課		
通信事業者	有村 浩一	テレコム・アイザック推進会議企画調整部部長		新井孝雄	総務省情報流通行政局情報通信作品振興課
	木村 孝	(社)日本インターネットプロバイダー協会会長補佐			
	丸橋 透	(社)テレコムサービス協会 サービス倫理委員会副委員長			

◆ 実証実験

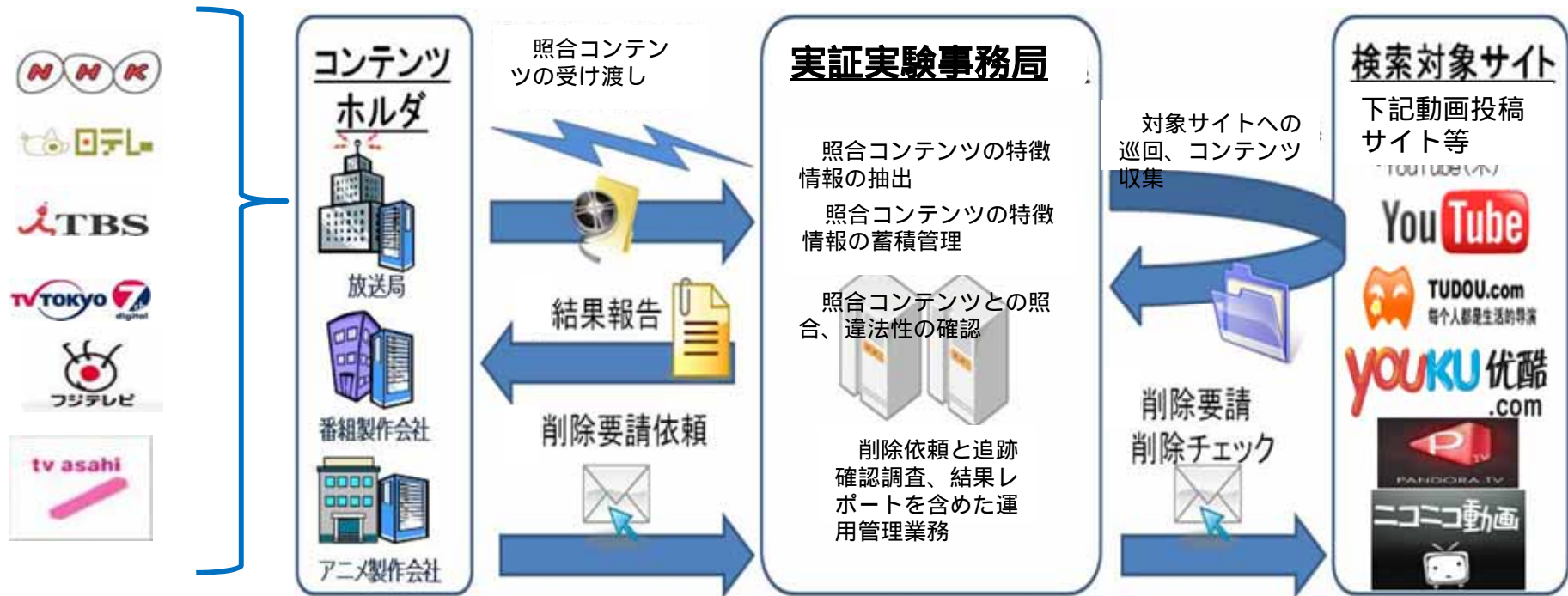
コンテンツの海外展開を含めた二次利用等の流通促進に資すること目的に下記3項目について実施する。

1. 国内外の動画投稿サイトにおけるコンテンツの不正流通の検知・削除依頼等のシステムに関する実証実験
2. P2P通信を利用したファイル共有ソフト(Winny等)上でのコンテンツの不正流通の検知・削除依頼等のシステムに関する実証実験（P2P実験）
3. コンテンツの不正流通の対策に向けた効率的な検知・削除依頼等を行う体制等の在り方に関する検討

動画投稿サイトにおける不正流通対策実証実験の概要

国内外の動画投稿サイトにおけるコンテンツの不正流通の検知・削除依頼等のシステムに関する実証実験

1. コンテンツの不正流通の現状把握
2. 不正流通の検知、削除依頼等の対策を行うシステム要件の検討
3. 不正流通の検知、削除依頼等の対策を行う体制の検討



・【期 間】平成22年12月18日～平成23年1月30日

・【巡回対象サイト】
対象サイト 国内外の主な動画投稿サイト

- ・対象コンテンツ 下記の2方法で対象コンテンツを決定
放送事業者の協力を得て、
人気の高いドラマ、アニメ、バラエティー等の番組
予め設定した放送時間に放送された番組
- ・その他
「コンテンツ不正流通対策の共同検知に向けた取組」
関係者が協力した不正流通対策の共通利用可能な機能を想定した場合の、システム機能・運用方法等の分析を実施

P2Pファイル共有ソフトにおける不正流通対策

P2Pファイル共有ソフト(Winny等)上でのコンテンツの不正流通の効果的で効率的な対策に関する実証実験

1. コンテンツ不正流通実態調査

- (1) クローリング調査
- (2) ダウンロード調査

2. 不正流通対策実証実験

- (1) 不正流通の阻害実験
- (2) 注意喚起実験

今後の検討事項

	課題と今後の検討事項
動画投稿サイト	<ul style="list-style-type: none">不正流通の検知、削除依頼等の対策を行うシステムの必要機能の検証及び最適な業務フローの設計海外の動画投稿サイトの実態把握及び対策手法の検討新たな形態の不正流通（不正流通を誘発するリンクサイト等）に対する実態把握及び対策手法の検討。
P 2 P ファイル共有ソフト	<ul style="list-style-type: none">不正ユーザー等への注意喚起手法の検討対象コンテンツの分野拡大（放送コンテンツ、音楽）対象P2Pファイル共有ソフトの拡大
体制	<ul style="list-style-type: none">権利者団体、通信事業者、放送事業者、動画投稿サイト運営事業者等の協働によるコンテンツ不正流通対策のための体制検討、ガイドラインの検討